

2024(令和6)年度

事業報告書

2024(令和6)年4月1日～2025(令和7)年3月31日



社会福祉法人神愛会

2024（令和6）年度 事業報告

2024 年度も各方面からの多くのご支援をいただき、神愛会の事業を継続することができました。心より感謝申し上げます。

本年度は、業績不振により有料老人ホーム「深和ホーム」を閉鎖し、他の社会福祉法人との法人合併に向けた協議を開始するなど、厳しい事業運営となりました。

法人合併については、少子高齢化や人口減少、物価高騰、競合施設の増加など厳しい社会環境の中、現在運営している「愛の園」の各種事業を単独で継続することが困難であると判断した結果度ございます。

ご利用者様、職員、そして地域の社会福祉を守るため、苦渋の決断ではありますが、新年度はこの実現に向けて覚悟を持って取り組んでまいります。

有料老人ホーム「深和ホーム」は 2025 年 3 月 31 日に閉鎖いたしました。この閉鎖に際し、ご入居者様をはじめ関係者の方々には多大なご心配とご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

特別養護老人ホーム「愛の園」にあつては、各種専門職の確保が課題となっており、一進一退の状況が続いています。そのため、目標としていた閉鎖中ユニットの再開は実現できませんでした。しかしながら、職員の奮闘により短期入所事業の業績は上向いています。

デイサービスセンター「愛の園」にあつては、地域に競合施設が増えた影響で稼働率の改善が進まず、定員を 35 名から 20 名へ変更し、職員数も適正な人数へ調整しました。

居宅介護支援事業者「愛の園」にあつては、3 名の介護支援専門員が、それぞれ担当できる最大人数の利用者を抱える状況です。増員計画を立てましたが実現には至りませんでした。はやり、今後増え続ける居宅介護支援のニーズに対応するため、新たな介護支援専門員の増員が必要です。

ボランティア活動と支援 新型コロナウイルス感染症の影響により、喫茶・傾聴・レクリエーション・ヨガ・マッサージなどのボランティア活動の受け入れが困難な状況でした。

このような中、園芸ボランティアは屋外活動のため、毎週土曜日にご奉仕いただき、今年も美しい花を咲かせてくださいました。

また、「愛の園後援会」「愛の園家族会」の活動も制限される中、車いすやセンサーマットなどの寄贈を受け、大変感謝しております。

法人内研修 法人内研修では「職員手帳 2024 年度版」を積極的に活用し、新型コロナウイルス感染症対策のため、集合研修を実施せず、インターネットを介した動画視聴型研修を行いました。

今後、この研修がどの程度効果を発揮したのか検証することが求められます。

加えて、法人内の閉鎖型ソーシャルネットワーク「メディカルケアステーション」の同時配信機能を活用し、利用者様へのより良いケアを実現するための情報を継続的に掲載しました。

今後、法人合併がなされても、「キリストの愛をもって互いに仕える」という神愛会の使命のもと、施設で生活される方々、利用される方々、地域の皆様にとって必要とされ、信頼される存在であり続けるよう努めてまいります。

新年度も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。



理事長 宮崎靖子

2024 年度 主要事業報告

年月日	部門	行事・会合等	備考
2024/4/1	法人	全体職員会	
2024/5/5	法人	日本経営 打合せ	
2024/4/8 ～4/10	法人	職員健康診断	
2024/4/11	法人	日本経営 来園	
2024/5/7	法人	会計士監査 西会計士	
2024/5/8	法人	日本経営 来園	
2024/5/25	法人	理事会	
2024/6/7	法人	日本経営によるヒヤリング対象者向け研修	
2024/6/15	法人	理事会および評議員会	
2024/6/18	法人	日本経営 打合せ	
2024/6/26	法人	日本経営 来園	
2024/7/12	法人	深和ホーム ホーム閉鎖にかかる入居者説明会	
2024/7/16	法人	深和ホーム 入居者個別面談開始	
2024/7/17	愛の園	朝日生命より車いす寄贈	
2024/7/18	法人	スバル大阪より自動車（ジャスティ）寄贈 式典	
2024/7/24	法人	日本経営 打合せ	
2024/7/30	法人	日本経営 打合せ	
2024/8/3	法人	紀南福祉人材バンク 福祉のしごとフェア 参加	
2024/8/9	法人	日本経営 打合せ	
2024/8/16	法人	日本経営 来園	
2024/8/29	デイ	デイサービスセンター愛の園 県による運営指導	
2024/9/2	法人	神愛会 新採用者研修	
2024/9/14	法人	神愛会 新採用者研修	
2024/9/13	愛の園	特別養護老人ホーム 秋祭り	
2024/9/19	法人	緊急理事会	
2024/10/24	愛の園	衆議院議員選挙 不在者投票	
2024/10/31	愛の園	上富田町による特別養護老人ホーム愛の園入居者マイナンバー手続き	
2024/11/2	愛の園	愛の園逝去者記念式	
2024/11/17	愛の園	特別養護老人ホーム愛の園 新型コロナウイルスワクチン集団接種	
2024/11/18	法人	三養福祉会との合併に向けて和歌山県庁サービス指導課と話し合い	
2024/11/22	法人	日本経営 来園	

2024/12/4	愛の園	特別養護老人ホーム中山ちどり見学（園長、介護主任、リーダー）	
2024/12/20	法人	日本経営 来園	
2024/12/25	愛の園	特別養護老人ホーム愛の園 クリスマス会	
2025/1/1	愛の園	新年祝賀朝礼	
2025/1/21	法人	日本経営 来園	
2025/2/1	法人	紀南福祉人材バンク 福祉のしごとフェア参加	
2025/2/18	法人	日本経営 来園	
2025/2/25	法人	西会計士 来園	
2025/3/1	法人	神愛会 理事会	
2025/3/15	法人	故近藤修女 逝去記念式（榛名 新生会）	
2025/3/16	法人	故近藤修女 納骨式（旧小山修道院）	
2025/3/25	法人	日本経営 来園	



社会福祉法人神愛会 2024 年度 事業報告

社会福祉法人神愛会は 2024（令和 6）年度、以下のような事業方針、事業計画を立て事業運営を行いました。これらの事業方針・事業計画の実施報告をさせていただきます。

《事業方針》

1. 常に神愛会の理念に立ち返り、利用者本位のサービスに努めます。
2. 利用者の豊かな生活を支援するため、常にサービスの質の向上に努めます。
3. 福祉専門職としての資質向上を目指し、常に自己の研鑽に努めます。
4. 地域に開かれた事業を進めるため、様々な人々と連携に努めます。

事業報告は以下の枠で囲った部分になります。

《事業計画》

2024 年度基本方針

社会福祉法人神愛会の理念である「キリストの愛を以って互いに仕える」に従いながら、キリストに愛を以って、助けを必要とするすべての人のために奉仕できるよう、運営する事業が安定して最善のサービスが提供できるようにします。

より具体的な方針や指針、ルールをまとめた「職員手帳」を基本としながら、適切なケアとコンプライアンスの徹底を図っていきます。

社会福祉諸法の理念に基づき、利用者の尊厳を守るとともに、法人の物的、人的資源を社会貢献のために有効に活用できるようにします。

1. 理念の継承

- ① 神愛会の基本理念・使命を継承する活動を進めます。

概ね新たに出勤する初日に行っている、新採用研修（2024 年度は 12 名が参加）において、時間をかけて神愛会の理念や使命、事業方針を説明するとともに、創業の地である岩田の旧修女院を見学して、「キリストの愛を以って互いに仕える」ということの意味を理解する機会を創出した。また、「職員手帳 2024 年度版」を使用しながらより深く学べるように工夫した。

神愛会で構築している閉鎖型 SNS（ソーシャルネットワークシステム）メディアカルケアステーションを活用して、理念や使命の継承に関係ものや宮崎理事長の講和を動画撮影したものなどを、適時配信してきました。

2. サービスの質の向上

① 特別養護老人ホーム（ショートステイを含む）では、「ケア方針」「生活目標」「ケア指針」をより適切なケアを実践するための拠りどころとしながら、ユニットケアの充実を図り、より安心・安全な生活を実現する介護を実践します。

また、そのために必要な介護・看護人材の確保については、あらゆる手段を使って行います。この手段の一つとして Instagram や Facebook といった SNS を活用して、ご入居者の生活の様子や職員の働く姿をできるだけ多く発信していきます。同時に、感染症対策を徹底することで生じた閉鎖的な現場のオープン化を進めていきます。

また、職員の離職を防ぐための取組を実践していきます。具体的には各種ハラスメントの防止、個別面談の実施、より生産性を高めるための ICT やロボットの活用なども研究していきます。

その結果として、閉鎖中ユニットの早期再開を目指し、居室稼働率 90%を実現させます。

ショートステイにあっては、早期に 20 床すべてが安定的に稼働できるようにします。

介護・看護職員の充実については、ある程度の新規採用者があったものの、介護・看護人材の採用難の状況は続いている。このため、サービスの質の向上という面では非常に厳しい状況であった。このため、閉鎖中のユニットの再開は達成できなかった。しかし、短期入所については徐々に稼働率が向上しています。

2024 年度はこれまで布おむつを使用していたが、ユニ・チャーム製の紙おむつの使用を開始し、同社のアドバイザーの指導を受けながら全面的に紙おむつに移行することができた。

「ケア方針」「生活目標」「ケア指針」については、職員手帳を活用した研修やメディカルケアステーションを活用した記事配信などでより意識づけることができた。特に、コロナ禍だからこそ疎かにしがちな、接遇と適切なケアの充実を意識した研修を行い、ある程度の効果が見られたと考えている。また、職員手帳 2024 年度版を職員からの意見などを集めながら作成し、2024 年 4 月によりやく完成した。今後もこの新しい職員手帳をベースにしながら研修などを組み立ていく予定です。

② デイサービスセンターでは、まず利用者一人一人が営む日常生活全体を丁寧に見つめ、個別的な生きづらさを共感していきます。その上で、住み慣れた自宅での暮らしができるだけ継続できるように必要な健康及び体力の増進、そして生きる意欲の向上を図ります。特に、独り暮らしの

ご利用者の支援を強化するため、デイサービスの機能を拡張利用していきます。

利用者に対するすべてのケアにあっては、より適切なケアを指向し、LIFE のデータを参考にしながら、丁寧で科学的な根拠を求めながら実践していきます。

また、これまで活用してきた職場内 SNS「メディカルケアステーション」の地域への横展開をすすめ、地域の居宅介護支援事業所等とのより効果的な連携体制が構築できるようにします。

そして、利用者一人ひとり状況、状態に合わせて、職員と設備の運用を最適化し、効率的かつ安全性と快適性を高めた上で、年間の利用者数 5500 人を実現させます。

デイサービスセンターの利用者数については 2024 年度も稼働率が伸び悩んだため、定員を 35 名から 20 名に減らし、職員もそれに応じて削減した。ここ数年で地域に通所介護事業所が乱立しており、いわゆる過当競争の状況であることも利用者数の減少に拍車をかける要因となっています。

加えて、愛の園の短期入所事業が軌道に乗り始めたこともあり、通所介護の利用者が短期入所を度々利用するような状況となったこともあります。

科学的な根拠をもとにしながらケアを進めることについては、バイタルサインなどをまとめた担当介護支援専門員への報告書の作成を継続しており、概ね対応できているものと考えている。科学的介護情報システム（LIFE）の活用も試みている。

また、看護師の新たな採用が実現し、営業日には必ず専属の看護師が対応できるようになった。

③ 有料老人ホーム深和ホームでは、入居者募集の範囲を質・量ともに広げ、地域のニーズに合わせて行きます。広報の手段としては継続して Instagram や Facebook といった SNS を活用して、深和ホームにおける生活の様子を発信していきます。

また、人的、設備的資源を最大限活用しながら、様々な事業を模索し挑戦していきます。そして、入居者の高齢化に伴い地域の訪問介護・訪問看護との連携、施設の維持管理に対応し、入居者の安心、安全への対応に努めます。

新規入居者の獲得のために様々な取り組みを行ってきたが、結果的に入居者の減少に歯止めがかからない状況でした。このようなことから 2024 年 7 月に深和ホームの閉鎖を決断し、2025 年 3 月 31 日をもって事業は終了しました。

ご入居者をはじめ多くの関係者に多大なご迷惑をおかけしたことは大変申

し訳なく思います。

ご入居者にあっては閉鎖期日までに退去いただき感謝するしかありません。

- ④ 居宅介護支援事業では、この圏域で仕組み作りが進められている在宅医療・介護の連携システムがより円滑に機能するように最大限の協力をしていきます。結果として、上富田町の地域包括ケアシステムの深化に寄与していきます。

また、介護支援専門員を増員する同時に、適切なケアマネジメント手法を参考にしつつ、ケアマネジメントの質的向上を図っていきます。そして、ケアプラン連携システムを導入するなど、ICT の活用等による業務の効率化を行い、逓減制の上限の緩和に対応していきます。

3 名の介護支援専門員が個々で担当できる利用者の定員いっぱいまで対応している状況です。介護支援専門員の増員を計画したが実現しなかった。今後増え続ける居宅介護支援のニーズに対応するためにもやはり新たに介護支援専門員を増員が求められます。

上富田町を中心にした地域包括ケアシステムの実現に向けて、上富田町地域ケア会議への積極的な参加、個別ケア会議への事例提出など協力ができました。

法人で取り入れている閉鎖型 SNS であるメディカルケアステーションを効果的に使用することで、ICT への対応もある程度は出来ている。業務の効率化という観点ではこれからであるが、逓減性の上限緩和を行うことができとえり、介護支援専門員 1 名で担当できる利用者数を数名増やすことができます。

ICT の活用などを柱にしながら生産性を向上させていく必要があることから、今後は ICT に対応できるケアプランシステム（iPad などを活用した屋外での記録作成や、他事業所とのケアプラン連携など）を導入していく必要があります。

- ⑤ 作成した大規模災害や未知の感染症蔓延を想定した事業継続計画（BCP）が適切に運用できるように、必要な研修や訓練を行っていきます。

事業継続改革（BCP）は完成しましたが、今後は具体的に有事に運用ができるように、相当の研修や訓練が必要となります。

- ⑥ 感染症対策については、新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行されたとはいえ、普段の感染対策には万全を尽くしていきます。

新型コロナウイルス感染症が5類に変更され、社会における感染対策の意識が徐々に緩和しています。しかし、高齢者施設としては何ら変わらない対応が必要であると考えています。現に、2024年9月に愛の園2階で、2025年1月に愛の園1階でクラスターが発生しました。今後も、緊張感をもって感染対策を実施していきます。

- ⑦ 身体拘束を含む虐待の防止については、「職員手帳」に記された指針などを、職員研修などを通じて繰り返し確認する機会をつくります。

職員手帳を活用した取り組みは十分にできていると考えています。また、愛の園職員手帳 2024 年度版を作成しました。より現実に即した内容に加筆修正しています。今後も、この新しい手帳をベースにしながら、理念の継承や職員研修を実施していきます。

- ⑧ 地域における公益的な取り組みを検討し実施します。

新型コロナウイルス感染症の影響で、公益的な取り組みを実施することはできなかった。

- ⑨ 介護職員の養成事業（介護職員初任者研修）を実施します。

この事業については、和歌山県当局とも相談し、休止しました。

3. 職員の資質の向上

- ① 法人内研修の充実を図りながら、「適切なケア」が何であるかを思考し、実践できる職員を養成していきます。具体的には集合研修にこだわらず、eラーニング形式の研修やレポート等の提出物の工夫などを行いより効果的なものにしていきます。また、新人研修については定期的、継続的に開催しながら、適切なケアが現場で均質的に行えるように配慮していきます。

また、事業継続計画（BPC）が作成されたため、この内容に沿って、例えば南海トラフ巨大地震発が発生した時でも事業が継続できるように研修と訓練を行っていきます。

新型コロナウイルス感染症の感染症対策のため、愛の園地域交流ホールを使

用した集合研修が行えない状況が続いた。このため、閉鎖型 SNS（ソーシャルネットワークシステム）メディカルケアステーションを活用して、認知症介護や権利擁護、虐待防止、感染症対策などの研修動画を視聴して、それぞれの研修内容に対応したレポート用紙を作成し、全ての職員に提出を求めた。

新採用者研修においては、前述した理念の継承に加えて、愛の園で実際に起こった事故や不祥事などを題材にして、入居者や利用者の権利擁護を意識させることにしている。

② これまでに発生した事故などを教訓にしながら、人権意識と専門的な知識と技術を高め、「不適切なケア」を最小化し、「適切なケア」を最大化するための取組を行って行きます。また、ヒヤリハット報告書の質と量を確保し、必要に応じて現場での検証を行いながら、職員が一丸となって重大な事故を未然に防いでいきます。

新採用者研修にあっては、これまでに発生した事故のケーススタディを行うなどしながら、人権意識を深める取組をおこなった。

「不適切なケア」を最小化し、「適切なケア」を最大化するための取組としては、イーラーニング形式の研修に「職員手帳」の内容に準拠しながら動画視聴とレポート課題を合わせて実施した。

③ 法人としての方針や指針、ルールをまとめた「職員手帳」を 2024 年度に改訂し、これを活用していきます。特に、理念の継承やコンプライアンス意識の徹底を図っていきます。

職員手帳 2024 年度版 が完成し、今後はこの新しい手帳を活用しながら理念の継承や研修を行いました。

④ 職場内 SNS「メディカルケアステーション」を活用し、職員の資質の向上に必要な情報を適時配信していきます。特に、適切なケアワークを実践していくための関連記事の配信を強化していきます。

また、「メディカルケアステーション」については導入して4年が経ち、職員の間での利用が活性化しているため、新たな利用方法を模索しながら、将来のペーパーレス化に向けた研究を行っていきます。

「メディカルケアステーション」の活用については、ケアに関わる参考資料、新型コロナウイルス感染症に関する注意喚起、職員研修の動画 URL の配信など

を定期的に行った。

加えて、メディカルケアステーションは災害時などの安否確認にも活用できると考えているので、BCP の実地的な運用に際し、災害の演習などにも取り入れられる予定です。

また、ペーパーレス化については、一部ヒヤリハット報告書や通院報告書などで運用を開始しています。ヒヤリハット報告書については、報告数が増えるなどの効果が出ています。

- ⑤ 介護職員の定着と養成のための研修や個別面談を実施します。具体的には新人職員向けの実技指導や心理的安全性を意識した管理者による定期的な個別面談を行います。

個別面談についてはケアワーカーのみであるが、2024 年夏ごろ順次行った。しかし、新型コロナウイルスによるクラスターの発生などがあり、一旦中止せざるを得ない状況となっている。このような 1 on 1 ミーティングは心理的安全性を高めるために効果的であると言われており、具体的な面接方法などを工夫しながら継続していく必要がある。

今回の面接では、職員手帳 2024 年度版の巻末にある「私の目標」を基にしながら、その目標達成を阻害する要因を確認し合うという形式をとった。しかし、面接する側、される側双方ともやはり 1on1 面接になれていないため、定例化させることと併せて面接力を高めていくことが求められる。

- ⑥ 介護福祉士他専門資格の取得を支援します。

2024 年度の介護福祉士の受験者はいなかった。

今後も、資格取得の支援は積極的に行う。

4. 地域の人々との連携

- ① 地域の医療・保健・介護機関との連携を強化します。

最低限の連携は継続して行えていると考えているが、新型コロナウイルス感染症の影響で連携が強化されたとは言えない。

② ボランティア活動を充実させます。

ボランティア活動は新型コロナウイルス感染症の影響でほとんど受け入れることが出来なかった。このような状況の中、園芸ボランティアだけは屋外での活動であるため、毎週土曜日に継続に行うことができた。その結果、常に愛の園玄関前の花壇に花を咲かせていただいた。

今後、一度新型コロナウイルス感染症の影響で途切れてしまったボランティア活動の復活は非常に難しいと考えている。どのような再開の方法があるのかさらなる検討を進めていきたい。

③ 後援会、家族の会との協働を充実させます。

愛の園後援会との協働について車いすやセンサーマットなどの寄贈を受けた。

愛の園家族会との協働については、新型コロナウイルス感染症の感染対策のために、愛の園での行事がほとんど中止されたため、十分な協働が出来なかった。しかし、家族会の総会を行い新たな役員を選出させていただき、今後も続くコロナ禍の中で、ご家族とどのような形でつながりを持てばよいのか協議していきたい。

5. 岩田旧施設の整理

① 岩田旧施設整理のための検討を継続します。

深和ホームの閉鎖に伴い、また他の社会福祉法人との合併の協議が進められている中で、岩田拠点の売却を進めている。まだ予定の段階であるができるだけこのことが実現できるように努力している。

なお、旧修道院や深和ホームなどに残されている備品などについては相応しい処分をできる限り行っている。

2024年度職員研修報告

A 内部研修

日程	内容	主催・担当・実施団体等	対象	実数	延人数
2024年4月1日	神愛会の理念と沿革 事業方針・計画	主催 研修委員会 特別養護老人ホーム愛の園施設長 崎山賢士	全職種全職員	12	12
2024年5月1日	神愛会の理念と歴史 神愛会の組織・事業 事業計画 職員研修 身体拘束廃止 就業の知識 倫理綱領 深和ホーム見学	主催 研修委員会 理事長・部門管理者	新採用者	1	1
2024年7月8日	神愛会の理念と歴史 神愛会の組織・事業 事業計画 職員研修 身体拘束廃止 就業の知識 倫理綱領 深和ホーム見学	主催 研修委員会 理事長・部門管理者	新採用者	1	1
2024年9月14日	神愛会の理念と歴史 神愛会の組織・事業 事業計画 職員研修 身体拘束廃止 就業の知識 倫理綱領 深和ホーム見学	主催 研修委員会 理事長・部門管理者	新採用者	1	1
2025年1月3日	神愛会の理念と歴史 神愛会の組織・事業 事業計画 職員研修 身体拘束廃止 就業の知識 倫理綱領 深和ホーム見学	主催 研修委員会 理事長・部門管理者	新採用者	1	1
2024（令和6）年6月 20日（木）～7月4日 （木）までに視聴	介護現場のための感染対策 ～手洗いは人類を救う～ 講師 介護現場のための感染対策 ～手洗いは人類を 救う～ 京都府保健環境研究所 施設内感染専門サポー トチーム	研修動画「介護現場のための感染 対策」を視聴 https://youtu.be/QvoBw1EZ1HQ	社会福祉法人神 愛会 全職員	87	87
2024（令和6）年9月1 日（日）～9月14日 （土）までに視聴	「虐待予防マニュアル」について 講師 特別養護老人ホーム愛の園 園長 崎山賢士	研修動画「「虐待予防マニユア ル」について」を視聴	社会福祉法人神 愛会 全職員	86	86
2024（令和6）年10月 16日（水）～10月30 日（水）までに視聴	認知症を知る 認知症の人を知る ～認知症の人に対 する正しい見方・正しい考え方・正しいかかわり方 講師 社会福祉法人神愛会 特別養護老人ホーム愛の 園 園長 崎山賢士	社会福祉法人神愛会 特別養護老 人ホーム愛の園作成 同題 Youtube動画 https://youtu.be/1NTsjzny7Bc	社会福祉法人神 愛会 全職員	88	88
2024（令和6）年12月 7日（土）～12月21日 （土）までに視聴	社会福祉施設における感染対策 Q&A 感染症医師と感染対策看護師がお答えしま す！ 講師 大阪市立大学 臨床感染抑制額・感染症内科医 師 掛屋博 大阪市立大学医学部付属病院 感染制御部 感染管理 認定看護師 岡田恵代	「社会福祉施設における感染対策 Q&A」 https://youtu.be/FUN0swhQCio	社会福祉法人神 愛会 全職員	86	86
2025（令和7）年1月 25日（土）～2月8日 （土）までに視聴	テーマ不適切なケアの理解とその防止について ～人 権研修～ 講師社会福祉法人神愛会 特別養護老人ホーム愛の園 園長 崎山賢士	「不適切なケアの理解とその防止 について」 https://youtu.be/8CDXY5Xwmcc	社会福祉法人神 愛会 全職員	88	88
2025（令和7）年3月 22日（土）～4月4日 （金）までに視聴	テーマ看取りケアについて 講師 「ドクターメイト介護医療TV」のコンテンツ動 画「看取りの基本方針と看取り支援」「入居時から始 まる看取りケア」「死生観」	ドクターメイト介護医療TV」のコ ンテンツ動画 「死生観」 https://youtu.be/ppEtHeVg3FQ 「看取りの基本方針と看取り支 援」 https://youtu.be/c215SEbZ2Hw 「入居時から始まる看取りケア」 https://youtu.be/0hQ7uJ0SgMI	社会福祉法人神 愛会 全職員	88	88
内部研修 計				451	451

B 外部研修

日程	内容	主催・担当・実施団体等	対象	実数	延人数
2024年4月26日	一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会 定例研修会 テーマ 介護現場におけるハラスメントとその対応 講師 聖カタリナ大学 人間健康福祉学部社会福祉学科 助教 雄賀 正彦 氏	和歌山県介護支援専門員協会	介護支援専門員	2	2
2024年8月24日	健康長寿の秘訣 口腔ケア：人は口から老い、口で逝く 講師：落合 邦康先生（日本大学・名誉教授）	和歌山県保険医協会 紀南支部・ 総会記念講演	介護支援専門員	1	1
2024年9月4日	テーマ 『認知症 破壊的増加を迎える日本、私たちは どう立ち向かうべきか』 講師 からし種在宅クリニック 「もの忘れ専門外来」 担当医 小野 道夫 氏	一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会	介護支援専門員	1	1
2024年11月15日	テーマ 『利用者の QOL 向上のために単椅子にできる ことを再発見!!』 ～ケアプランに位置付ける上で求められる視点 とは～ 講師 一般社団法人オンラインプレゼンテーション協 会 代表理事 宇佐見 将太氏（理学療法士、車椅子 アパレルデザイナー）	和歌山県介護支援専門員協会西牟 婁田辺支部	介護支援専門員	1	1
2025年2月8日	『田辺圏域で繋ぎ進めるアドバンス・ケア・プランニ ング』 医療と介護の専門職向け研修会のお知らせ 研修テーマ『田辺圏域で繋ぎ進めるアドバンス・ケア・ プランニング』 ～この地域で、一人ひとりにとっての将来の医療・ケア を選び、実現していくには?～	令和6年度在宅医療・介護連携推 進事業 医療と介護の専門職向け研修会	介護支援専門員	2	2
2025年2月1日	ユニットリーダー研修	一般社団法人 日本ユニットケア 推進センター	ユニットリー ダー	2	2
外部研修 計				9	9

内部研修	外部研修	合計	460	460
------	------	----	-----	-----

C 研究大会・学会等

日程	研究大会・学会等	主催・担当・実施団体等	対象	実数	延人数
2024年6月22日（土） ～23日（日）	日本ケアマネジメント学会 第23回研究大会 テーマ：変化する社会における次世代のケアマネジメ ントを考える ～持続可能なアプローチとイノベーションの模索～	日本ケアマネジメント学会 神奈川県横須賀市	介護支援専門員	1	1
2025年2月8日（日） ～9日（月）	2024年度の近畿ブロック大会「第3 2回 社会福祉士 会近畿ブロック研究・研修兵庫大会」 テーマ 「くにうみの島より いのち輝く「支縁」～孤独・孤 立に寄り添うソーシャルワーカー～」	日本社会福祉士会近畿ブロック	社会福祉士	1	1
2025年2月15日（土） ～16日（日）	日本介護支援専門員協会 第23回近畿ブロック研究大 会inしが テーマ：介護支援専門員の未来を拓く新たな視点 ～ダイバーシティ&インクルージョン 桜梅桃李～	日本介護支援専門員協会 滋賀県草津市	介護支援専門員	1	1
外部研修 計				1	1

D メディカルケアステーションによるケアに関わる参考資料の配信

法人内で構築している閉鎖型SNS「メディカルケアステーション」を活用して、ケアに関わる参考資料を月から土曜日に配信している。この配信を受け取った者は必ずその内容を確認し、SNSの機能として準備されている「グッド」ボタンを押すこととしている。

日程	内容	著者等情報	対象		
2024年4月1日～2024年5月12日	神愛会職員手帳（2024年度版）の解説	愛の園で作成	社会福祉法人神愛会 全職員		
2024年5月13日～2024年6月4日	ご入居者ご利用者が服用している薬の理解	愛の園で作成	社会福祉法人神愛会 全職員		
2024年6月5日～2024年12月16日	【認知症ケアのキホン～これだけは押さえてほしいポイント100】 3 STEPで学ぶ「本人の思い」と「ズレ」を解消するヒント	おはよう 2 1 2023年10月増刊号	社会福祉法人神愛会 全職員		
2024年12月17日～2025年1月30日	場面別 介護のよくある悩み・困りごと解決ハンドブック	おはよう 2 1 2024年10月増刊号	社会福祉法人神愛会 全職員		
2025年1月30日～3月31日	「利用者 家族 スタッフに信頼される 介護のステキな言い換え術」	大野萌子著 中央法規出版	社会福祉法人神愛会 全職員		

2023年度 ボランティア状況

A 定期ボランティア

期間	内容	延人数	氏名・グループ名・活動名
通年 週単位			
通年 月単位	愛の園花壇等の手入れ	182	グリーンボランティア
計		182	

B 不定期ボランティア

月	内容	延人数	氏名・グループ名・活動名
5月			
7月			
9月			
11月			
12月			
計		0	

定期・不定期合計		182	
----------	--	-----	--

【2024年度 入居者・利用者の状況】

A 特別養護老人ホーム愛の園(定員90名)

(1)入居者数

	人数	対定員
2023末 入居者数(a)	21	23.3%
2024内 退居者数(b)	24	26.6%
2024内 入居者数(c)	32	35.5%
2024末 入居者数(a-b+c)	20	22.2%
月間平均入居者数	77.6	86.2%
24年度延べ入居者数	28339	

(2)年齢別構成 2025年3月31日現在

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	計
男性	1	0	1	2	3	4	6	17
女性	1	2	1	1	13	16	35	69
計	2	2	2	3	16	20	41	86
構成比(%)	2.3%	2.3%	2.3%	3.5%	18.6%	23.3%	47.7%	
2024年度	1	2	2	4	13	18	40	80

(3)要介護度別構成

	1	2	3	4	5	計
男性	0	1	7	7	2	17
女性	0	3	9	22	33	67
計	0	4	16	29	35	84
構成比(%)	0.0%	5.3%	21.3%	38.7%	46.7%	100.0
2024年度	0	1	16	34	29	80

(4)入居年数別構成

	～1年	～3年	～6年	～9年	10年～	計
男性	11	6	0	0	0	17
女性	19	16	17	8	9	69
計	30	22	17	8	9	86
構成比(%)	17.5	31.3	35.0	10.0	6.2	100.0
2024年度	25	28	24	5	1	83

(5)待機者状況

	2017末	2018末	2019末	2020末	2021末	2022末	2023末
男性							31
女性							39
計	48	40	72	77	66	94	70

B ショートステイ(短期入所生活介護・定員 10 名)利用状況

(1)月別利用者数

	利用実人数			利用延人数			日平均
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
4月	8	28	36	68	219	287	9.4
5月	9	25	34	77	243	320	10.3
6月	14	24	38	94	205	299	10.0
7月	7	24	31	57	215	272	8.8
8月	5	20	25	54	214	268	8.6
9月	7	22	29	46	244	290	9.7
10月	8	23	31	36	236	272	8.8
11月	11	24	35	72	257	329	11.0
12月	10	28	38	92	285	377	12.2
1月	11	24	35	133	339	472	15.2
2月	12	21	33	109	232	341	12.2
3月	14	22	36	100	222	322	10.4
合計	116	285	401	938	2911	3849	10.5

(2)利用者数の推移

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	対前年比%
年間利用者数	1142	646	1799	3780	3849	102%
1 月平均利用者数	95.2	53.8	150	315	320.8	102%
1 日平均利用者数	3.1	1.8	4.9	10.3	10.5	102%

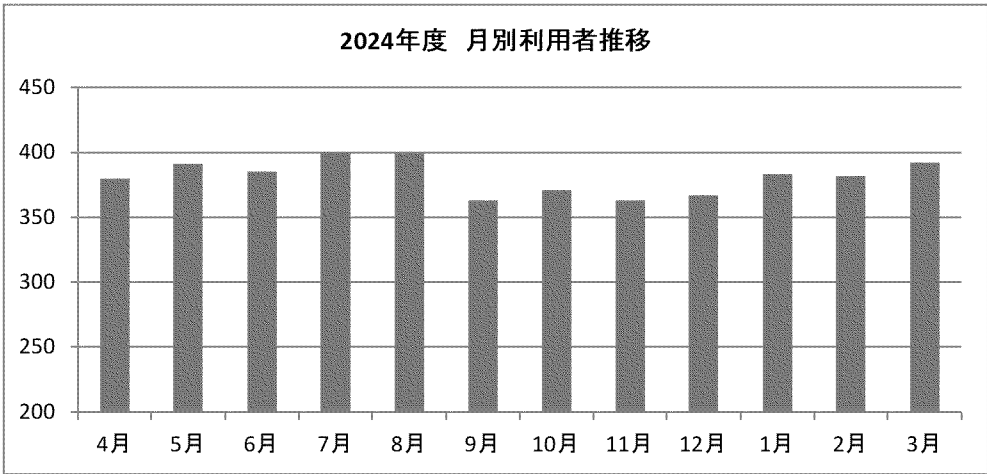
(3)介護度別利用状況

	支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	合計
実人数	3	9	69	89	112	78	38	398
延人数	9	61	495	728	967	1132	428	3820
構成比%	0.2%	1.6%	13%	19.1%	25.3%	29.6%	11.2%	100%
2024 延人数	2	27	242	686	1095	865	841	3758

C デイサービスセンター愛の園(定員20名)

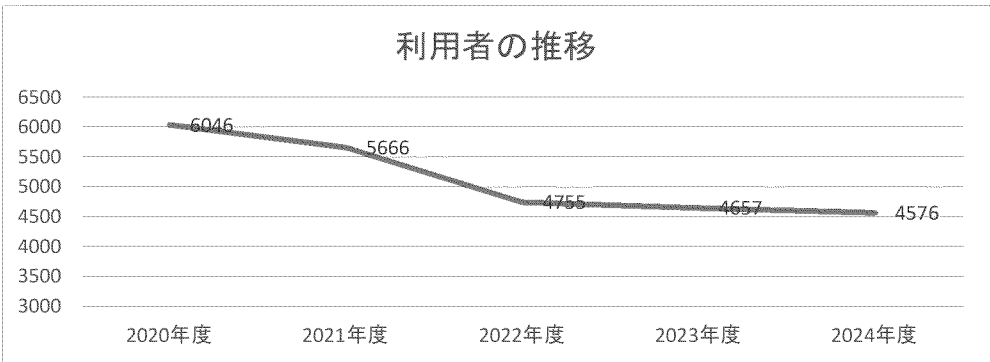
(1)利用者月別推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
延利用者合計	380	391	385	400	399	363	371	363	367	383	382	392	381
1日平均利用者	14.6	15.0	14.8	14.8	15.3	14.0	13.7	14.5	14.7	16.0	15.9	14.5	17.8



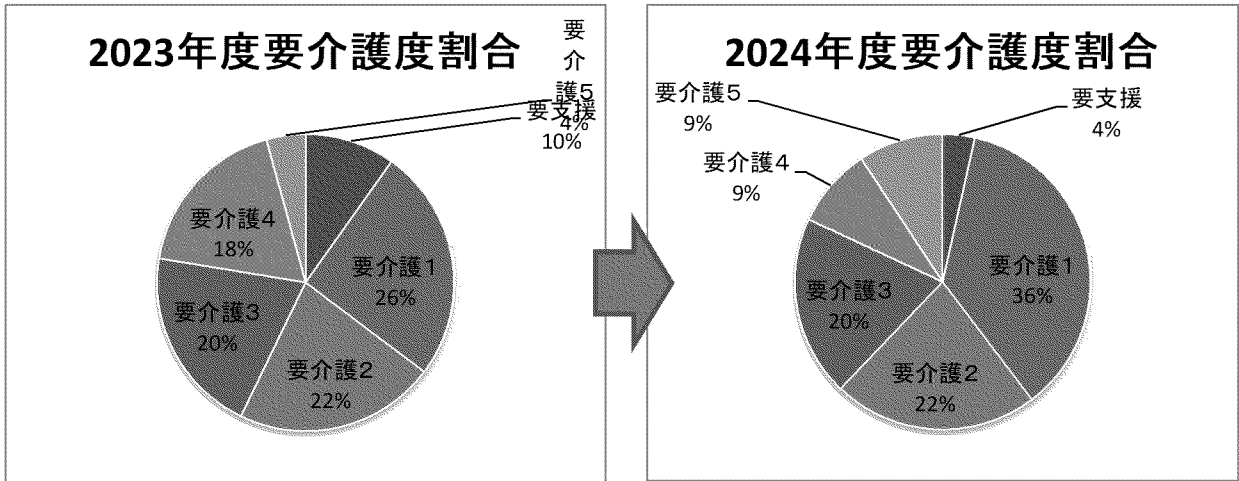
(2)利用者数の推移

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	前年度との増減費(%)
延利用人員	6046	5666	4755	4657	4576	98.3%
1日平均利用者数	19.5	18.2	17.8	15	14.8	98.7%



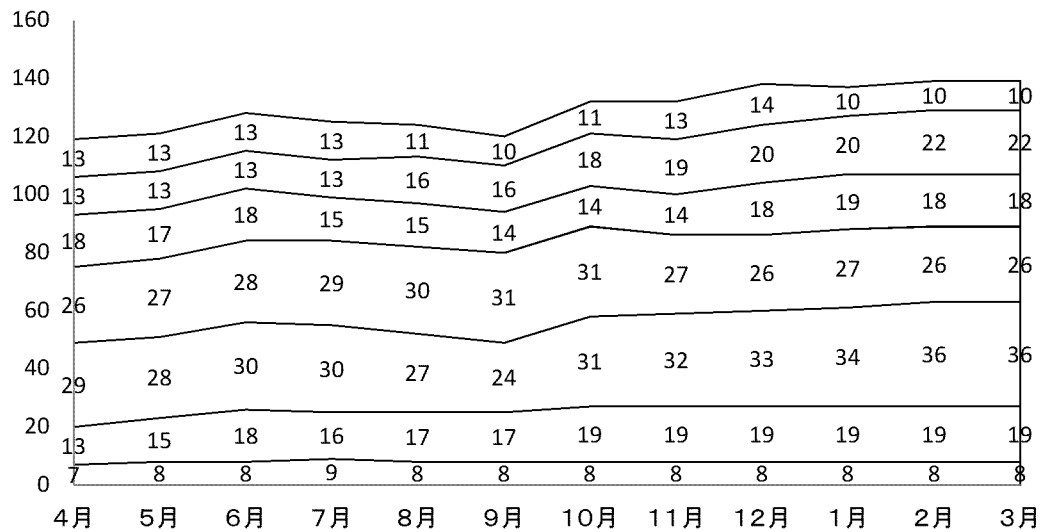
(3)介護度別利用状況

要介護度	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2024年度延利用回数	164	1684	1045	923	407	434	4657
構成比(%)	3.5%	36.2%	22.4%	19.8%	8.7%	9.3%	
2024年度延利用回数	451	1163	1003	933	831	195	4576
構成比(%)	9.9%	25.4%	21.9%	20.4%	18.2%	4.3%	



D. 居宅介護支援事業者愛の園

2024年度	月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
計画作成人数	4月	7	13	29	26	18	13	13	119
	5月	8	15	28	27	17	13	13	121
	6月	8	18	30	28	18	13	13	128
	7月	9	16	30	29	15	13	13	125
	8月	8	17	27	30	15	16	11	124
	9月	8	17	24	31	14	16	10	120
	10月	8	19	31	31	14	18	11	132
	11月	8	19	32	27	14	19	13	132
	12月	8	19	33	26	18	20	14	138
	1月	8	19	34	27	19	20	10	137
	2月	8	19	36	26	18	22	10	139
	3月	8	19	36	26	18	22	10	139
	計	96	210	370	334	198	205	141	1554



□ 要支援1 □ 要支援2 □ 要介護1 □ 要介護2 □ 要介護3 □ 要介護4 □ 要介護5

